



標準施工仕様

標準仕様（平滑面）

	製品名	調合割合	塗布量 (kg/m ²)	塗 回 数	間隔時間 (hr)	備 考 〔施工器具〕
1. 下地調整	▼ 下地調整 による					
2. 下 塗	ダイヤワイドシーラー 無希釈	15kg	0.1～0.2	1	2以上	中毛ローラー 刷毛、エアレス
3. 中 塗	ダイヤカレイド中塗 無希釈	16kg	0.18～0.22	1	2以上	中毛ローラー 刷毛、エアレス
4. 上 塗	ダイヤカレイド上塗 無希釈	18kg	0.4～0.5	1	—	万能ガン 口径5.5mm

※塗布量は被塗物の形状や素地の状態、施工条件、環境条件などによって増減することがあります。
※間隔時間は温度23℃、湿度50%の場合です。温度、湿度によって乾燥時間に差異を生じますので注意して下さい。

標準仕様（改装：塗膜面（微弾性フィラー処理））

	製品名	調合割合	塗布量 (kg/m ²)	塗 回 数	間隔時間 (hr)	備 考 〔施工器具〕
1. 下地調整	▼ 下地調整 による					
2. 下 塗	ダイヤアクリスフィラー 清 水	16kg 1～1.3% ^①	0.3～0.5	1	5以上	中毛ローラー 刷毛
2. 下 塗	ダイヤアクリスフィラー 清 水	16kg 0.5～0.8% ^②	0.8～1.0	1	16以上	多孔質ローラー
3. 中 塗	ダイヤカレイド中塗 無希釈	16kg	0.2～0.3	1	2以上	中毛ローラー 刷毛、エアレス
4. 上 塗	ダイヤカレイド上塗 無希釈	18kg	0.5～0.7	1	—	万能ガン 口径5.5mm

※塗布量は被塗物の形状や素地の状態、施工条件、環境条件などによって増減することがあります。
※間隔時間は温度23℃、湿度50%の場合です。温度、湿度によって乾燥時間に差異を生じますので注意して下さい。

●上記以外の仕様は施工要領書をご参照下さい。

標準仕様（改装：サイディングパネル面（窯業系））

	製品名	調合割合	塗布量 (kg/m ²)	塗 回 数	間隔時間 (hr)	備 考 〔施工器具〕
1. 下地調整	▼ 下地調整 による					
2. 下 塗	ダイヤワイドシーラー 無希釈	15kg	0.1～0.2	1	2以上	中毛ローラー 刷毛、エアレス
3. 中 塗	ダイヤカレイド中塗 無希釈	16kg	0.2～0.3	1	2以上	中毛ローラー 刷毛、エアレス
4. 上 塗	ダイヤカレイド上塗 無希釈	18kg	0.5～0.7	1	—	万能ガン 口径5.5mm

※塗布量は被塗物の形状や素地の状態、施工条件、環境条件などによって増減することがあります。
※間隔時間は温度23℃、湿度50%の場合です。温度、湿度によって乾燥時間に差異を生じますので注意して下さい。

●ダイヤカレイド上塗は攪拌棒、柄杓などを用い、均質になるまで手作業で穏やかに攪拌して下さい。
電動攪拌機を用いて攪拌しますと、模様粒子が破損する恐れがありますので使用しないで下さい。

■ 施工・管理上の注意

【塗装面の調整（新設）】

- ①素地に付着している塵、汚れ、油脂類、レタンス等を完全に除去して下さい。
- ②セメント質下地は、表面の含水率10%以下（pH10以下）になるまで放置して下さい。下地モルタルは十分に乾燥させて下さい。モルタルの乾燥期間は、夏期で1週間、冬期で2週間以上必要です。コンクリート下地は、夏期で2週間、冬期で3週間以上乾燥が必要です。
- ③雨上がり後は、均一に乾いてから施工して下さい。
- ④PC/タタリ、現場打ちコンクリートの場合
 - 1)豆板、木コン、破損箇所、不陸などは、セメントフィラー、セメンジャス#2000、セメンジャス#2500、リマモル#70等の下地調整材を使用し、補修して平滑にして下さい。
 - 2)表面が緻密でレタンス層がある場合は、レタンスを除去し、ダイヤガンシーラー又は、ダイヤシーラー-Eボをご使用下さい。
- ⑤ALCパネルの場合
 - 1)ダイヤカチオンファイラーまたはダイヤアクリスフィラーを塗布して下さい。

【塗装面の調整（新設・改修共通）】

- ①屋上防水、目地排水管など水の浸透が予想される箇所については、事前に十分点検し適切な処置をして下さい。
- ②使用シーリング材の種類により塗膜のひび割れ、剥離、ブリード等の異常を生じる場合があります。あらかじめ塗装仕様を確認して下さい。

【塗装面の調整（改修）】

- ①各現場の改装工事仕様に基づき劣化部分の補修や既存塗膜の処理（ケレン、清掃、高圧水洗淨）などを行って下さい。
- ②剥離層が厚い場合には、取り除いてから施工して下さい。
- ③チヨークラックは、サンダー、ワイヤブラシ等でケレン後、高圧洗浄で除去して下さい。

【材料の保管・管理】

- ①開封した材料は必ず密封し、直射日光や雨露を避けて保管して下さい。
- ②材料の保管は凍結や温度上昇による変質を避けるため、気温5～35℃で、密封のまま直射日光を避け、屋内に貯蔵して下さい。長時間貯蔵したものは十分攪拌し、変質の有無を確認して下さい。

【施工】

- ①気温5℃以下、降雨、降雪、強風下および湿度85%以上の場合、または予想される場合には施工を避けて下さい。また作業後に、降雨、降雪の恐れがある時は雨（雪）養生をして下さい。
- ②材料は使用前に十分攪拌し、均一にしてから使用して下さい。攪拌を誤りますと成膜不良や本来の塗膜性能が発現できませんので注意して下さい。
（ダイヤワイドシーラー、ダイヤアクリスフィラー、ダイヤカレイド中塗）
電動攪拌機を用いて、均一に攪拌してから使用して下さい。
（ダイヤカレイド上塗）
攪拌棒、柄杓などを用い、均質になるまで手作業で穏やかに攪拌して下さい。
電動攪拌機を用いて攪拌しますと、模様粒子が破損する恐れがありますので使用しないで下さい。
- ③材料は付着乾燥しやすく取れませんが、完全に養生をして下さい。塗付面周辺の養生を完全に行ない、施工時建築物の周辺に飛散しないように注意して下さい。また、塗付後は、速やかに養生紙や養生テープを取り除き清掃して下さい。乾燥後、養生テープを取り除く場合はカッターを入れて下さい。そのまま取り除きますと斑が残り/りとなります。
- ④乾燥時間は、温度、湿度、および、風等により差異を生じます。
- ⑤コンプレッサーを使用する場合は必要十分な能力以上のものをご使用下さい。
- ⑥下地は十分に乾燥してから施工して下さい。乾燥不十分の場合、念ふら、剥離等の生じる原因となります。
- ⑦施工にあたっては、同一方法で、入り隅、出隅等見切りの良いところまで仕上げて下さい。同一壁面途中での塗り継ぎは色違いやムラの原因になります。
- ⑧施工後24時間以内に降雨、結露等があった場合、水分の影響で白化や色ムラが発生し、壁面に残る場合があります。

- ⑨本施工に入る前に試験塗りをを行い、施工のタイミング、粘度、塗布量などをチェックし、仕上がりムラにならないよう確認して下さい。⑩常に結露が発生する地域・時期での施工は避けて下さい。
- ⑪安全衛生上の注意事項については、容器の表示も合わせてご参照下さい。
- ⑫一度に厚く塗ると割れや発泡が生じることがあるため、間隔時間を守り、規定回数以上に分けて塗布して下さい。
- ⑬塗装下地の差によって、塗布量が変わる場合があります。
- ⑭フッ素や無機系などの難接着塗装処理がされている下地については、付着性が十分に発揮されないおそれがありますので、ご使用の場合は最寄りの営業所へご相談下さい。
- ⑮可使用時間及び塗装期間は厳守して下さい。層間密着性の低下の原因となります。
- ⑯使用した器具類は直ちに洗浄して下さい。放置しますと硬化して洗浄することが難しくなります。
- ⑰乾燥時間は、温度、湿度および、風等により差異が生じます。
- ⑱下地の吸込ムラにより色彩のムラが発生する場合があります。
- ⑲シーラーと上塗りを混合するとケル化する恐れがありますので、容器・刷毛・ローラーなどの共用は避けて下さい。
- ⑳上塗材を施工する場合は、下塗り後の乾燥状態を確認して下さい。
- ㉑既存塗膜の色が濃い場合、また既存塗膜がセメント系の場合には高圧水洗後にはダイヤガンシーラーまたはダイヤワイドシーラーを塗布して下さい。
- ㉒施工後、塗膜が乾燥するまでに、降雨などにより水分の影響を受ける状態が継続された場合、低汚染機能が発現しないことがあります。乾燥までに降雨や積雪、結露が予想される場合は施工を避けて下さい。
- ㉓予想外の降雨などが発生した場合は、シート養生などを行い塗装面が濡れないよう対策を講じて下さい。
- ㉔施工部位により、低汚染性が十分に発揮されないケースがあります。雨掛りでない部位や斜壁、水切りが不十分な面台や窓まわり及びその下面などは、低汚染機能が発現しないことがあります。
- ㉕シーリング材などに含まれる可塑剤、揮発油、サビ汗などが原因の汚染物質に対しては、低汚染機能が十分に発揮されません。
- ㉖上塗は塗布量を厳守し均一に施工して下さい。塗布量が少ない場合は低汚染機能が十分に発揮されません。
- ㉗塗布面の吸い込みが大きい場合は、下塗などにより吸い込みを少なくし、上塗が塗布面に吸い込まれないようにして下さい。表面に上塗材が十分に確保されていないと耐候性、低汚染機能が発揮されません。
- ㉘中塗・上塗は塗布量を厳守し均一に施工して下さい。塗布量が少ない場合やパターン谷部に塗残しがある場合は低汚染機能が十分に発揮されません。
- ㉙上塗と中塗は共通色を使用するため、中塗施工後に上塗を施工する場合は塗残しがないよう十分注意して下さい。また、タッチアップの際、中塗・上塗を間違えないよう保管管理には十分注意して下さい。施工管理上、中塗の色を変え場合はご注文の際の旨お申し付け下さい。

【安全衛生上の注意】

- ①取扱いには、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防護マスク、保護メガネ、保護手袋を着用して下さい。
- ②取扱い後は、手洗い及びうがいを十分にやって下さい。
- ③子供の手の届かない所に保管して下さい。
- ④作業中・作業後は十分換気を行って下さい。
- ⑤廃塗材、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。
- ⑥目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ⑦顔て飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ⑧中身を使い切ってから廃棄して下さい。
- ⑨皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときは医師の診断を受けて下さい。
- ⑩臭い、蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

【その他】

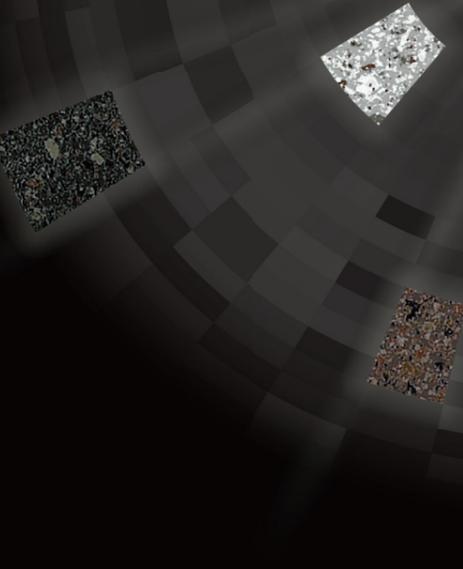
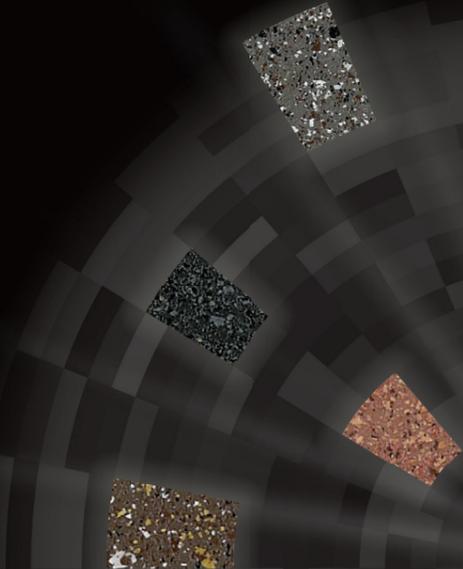
- ①その他、詳しくは最寄りの各営業所へお問い合わせ下さい。
- ②施工に際し、施工・管理上の詳細な注意点については「ダイヤカレイド施工要領書」や仕様書等をご確認下さい。
- ③施工に際し、安全衛生上の詳細な注意点については安全データシート(SDS)をご確認下さい。

水性シリコン系微光沢多彩模様塗料

DIA KALEIDO

ダイヤ カレイド

Top quality multicolor coating



2023年4月1日より シーカグループの株式会社ダイフレックスは日本シーカ株式会社に統合され、新たにシーカ・ジャパン株式会社としてスタートいたしました。

製品・工法に関するお問い合わせはホームページのブランドサイト <https://www.dia-dyflex.jp/>にてご確認のうえ各地域のオフィスまでお願い申し上げます。

(24.2月現在) 24.02.2000 SJ

水性シリコン系微光沢多彩模様塗料

DIA KALEIDO

ダイヤ カレイド

～ 優美な色彩と耀きの調和 ～

多彩な色と上品な光沢
華やかな重厚感の演出



春の柔らかな朝陽 深まる秋の斜光
四季折々の陽光や 朝夕の日差に映え、
その時々表情を見せてくれます。

従来の塗料では表現できない豪華な質感、
深みのある彩を お届けします。



※写真はシミュレーションによるイメージです。

Monotone gloss

モノトーン的美しさが、洗練された奥行きのある空間を演出します。
質感を追求したシンプルな色遣いは、
スタイリッシュな風合いをより愉しまたい方にお勧めです。

モノトーングロス



DK-1101



DK-1102



DK-1103



DK-1104

Oriental gloss

小粒なレンガ風の赤色が、深みのあるクラシカルな空間を演出します。
華やかな色遣いは、ドラマチックな表情の移ろいを愉しまたい方にお勧めです。



オリエンタルグロス



DK-1109



DK-1110



DK-1111



DK-1112

Bitter gloss

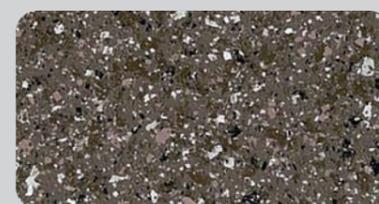
自然界に存在する色相に重厚感が加わり、落ち着いた中にも、微細なきらめきを持つ空間を演出します。
街並みに溶け込む色遣いは、調和のとれた美しさを愉しまたい方にお勧めです。



ビターグロス



DK-1105



DK-1106



DK-1107



DK-1108

DIA KALEIDO

ダイヤ カレイド

特長

高意匠性

従来の単色塗料にない立体感と深みがある
豪華な彩を演出します。

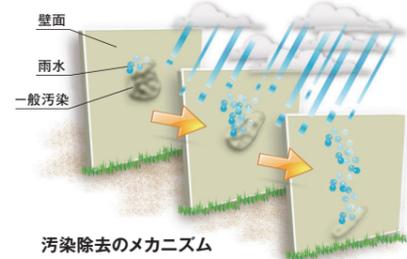
ダイヤカレイドの上塗材は、顔料カプセル（ゲル）で意匠性を持たせる一般的な多彩模様と異なり、カラーフレイクを配合する事で光沢のある立体的な塗膜となり、高級感と重厚感がある仕上がりとなります。また、耐候性に優れていることはもちろん、施工による色ムラが発生しにくいいため、デザイン性がブレないことが大きな特長です。



低汚染性

汚れにくい性質の塗料です。

塗装後の壁面が水となじみやすくなるため、汚れ（排気ガスや粉塵等）が付着しても雨水で流れやすいという特性を持ちます。また、防カビ・防藻性にも優れています。



安全性

人と環境にやさしい塗料です。

各工程が全て水性のため低臭です。また、ホルムアルデヒド・キシレン・トルエン等の有害な揮発性有機化合物（VOC）を含まないことから安心してご使用いただけます。



微弾性

下地追従性に優れています。

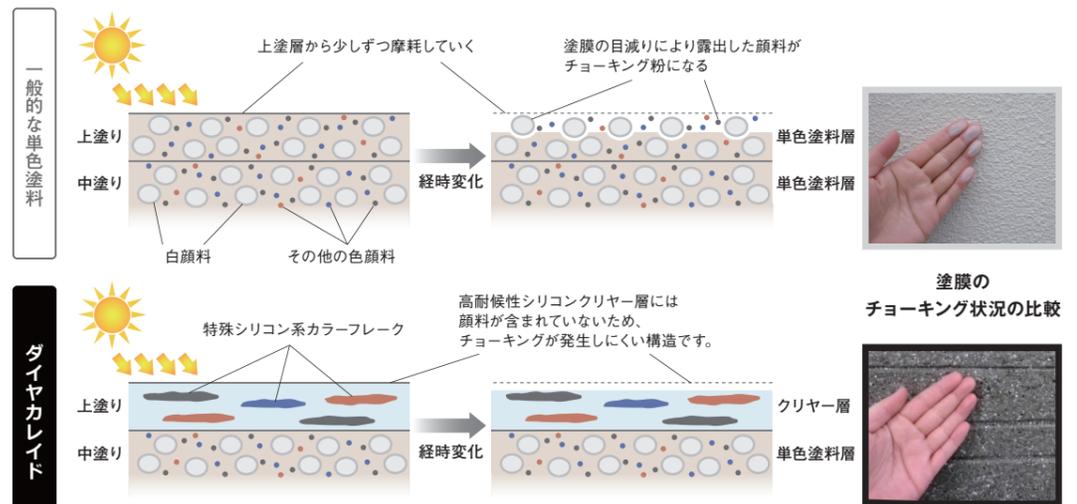
ダイヤカレイドの塗膜は微弾性下塗材対応です。下塗材に「ダイヤアクリレスフィラー」を選定することにより、下地の軽微なひび割れを充てんし、ひび割れの拡大を防ぎます。

優れた耐候性を持つクリアーと特殊カラーフレイクの配合により、紫外線による変色や褪色が起こりにくく、汚れにくいいため美しい仕上がりを長く保ちます。各工程が「水性」という人と環境にやさしい塗料です。

高耐候性

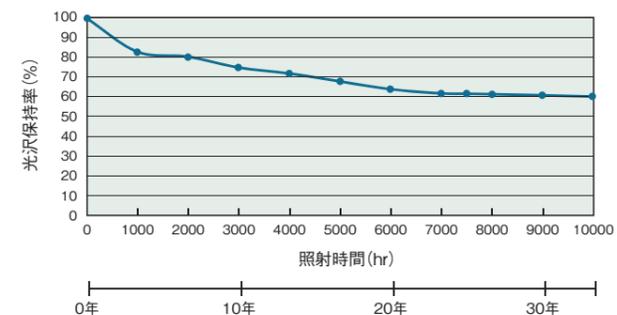
塗装後の美しい仕上がりを長く保ちます。

ダイヤカレイドの上塗材は顔料を配合しない高耐候性シリコンクリアーを採用しているため、チョーキング（白亜化）が発生しにくい構造になっています。さらに、上塗材のクリアー皮膜は紫外線や雨水の攻撃から建物を長期的にガードします。また、高温成膜技術により工場生産された特殊カラーフレイクは非常に安定した塗膜物性を持つため、単色顔料と比較すると変褪色が起こりにくい特性を有しています。



※チョーキングとは、主に塗装表面が暴露状態の際に、紫外線等により塗装面の表層樹脂が劣化し、塗料の色成分の顔料がチョークのように粉状になって顕れる現象や状態のことです。

促進耐候性試験 (サンシャインウエザーメーター)



耐候形1種相当

屋内外の環境条件（太陽光・温度・降雨等）を人工的に再現し、劣化を促進させ短期間で耐候性の性能を確認する試験です。

※サンシャインウエザーメーター300時間は実曝1年に相当